

労働を考えるHAELE-8：

「日本的雇用システム史の再考：発生論、制度、



天正年間古地図（香川県香西町役場『香西史』香川新報社、1930年、所収）

参加登録は下記にてお願い致します。ZoomのURLをお知らせ致します。
<https://forms.office.com/r/NB6X1WBj1X>

2023/08/08

14時～16時：Zoom ハイフレックス（高松会場：香川大学）（詳細は村山までお問い合わせください。）

HAELEの夏は労働を考える夏です。今回は、島西智輝氏（立教大学経済学部教授）による講演会です。島西氏は今年の2月末に梅崎修氏、南雲智映氏とともに『日本的雇用システムをつくる 1945-1995：オーラルヒストリーによる接近』（東京大学出版会）を公刊されました。547ページにも及ぶ大著です。日本的雇用システムについては長く議論されてきました。しかし、これまでの叙述や分析とは異なる独自性があります。第1は、機能論的分析から発生論的分析への転換であり、第2は、オーラルヒストリーという歴史資料を作成しながら進められた分析である点です。「戦後日本の労使関係を分析してきた」本書は、「戦後日本の1945年から1995年という50年間は、戦争直後の混乱の中から新しい人事制度やルールを作り上げていく過程であったと言える」と結論づけています(本書、441頁)。

島西氏は三人の著者のお一人として、本書の作成と分析の過程で得られた知見を紹介して頂けます。非常に貴重な機会だと思えます。短い時間です。専門分野以外の方、また、フィールドワークを中心に研究を進められて来た方々など、どうぞ気楽にご参加ください。

本研究会は、科研B(20H01523)/同(23H01661); Core-to-Core Programの支援を受けています。

問い合わせ先：村山聡, 香川大学名誉教授 Living Spaces Project, ICEDS, Kagawa University

Email: murayama.satoshi@kagawa-u.ac.jp

URL (HAELE): http://dlpweb.ed.kagawa-u.ac.jp/main/?page_id=462